

第7次小樽市総合計画基本計画 改訂原案 主な修正一覧

- 基本構想の見直しに合わせた修正
- ◆ 情勢変化への対応に関する修正
- 時点修正、文言修正、その他の修正
- 【指標】 指標の追加・目標値の修正等

(R7.7.24 総合政策部企画政策室)

項 目	主 な 修 正
I 基本計画について	
趣旨	○ 総合計画と総合戦略を一体化し、総合的かつ効率的に推進する旨を追記
計画期間	○ 中間見直しを行った旨を追記
計画の推進について	○ P D C Aサイクルの図から「標準的なサイクル」の説明を削除
II 施策の体系	
(略)	
III 人口減少・少子高齢化への対応	
前文・図	◆ 人口減少がもたらす影響の一つとして、公共交通機能が維持困難となることを追記 ■ 転出超過を社会減に変更するなど、基本構想における修正後の表現に合わせる修正 【図】 国勢調査結果及び最新の社人研推計への時点修正 新たな人口シミュレーションをしないことによりグラフを一本化 (令和 32年(2050 年)までの推計を記載) ○ 総合計画と総合戦略を一体化するため、総合戦略の記述及び関連計画図の削除
0 1 人口減少への挑戦	
現状と課題	■ 基本構想に合わせた文章の修正、デジタル化の対応に関して追記 ■ 関係人口の拡大を本項目の「主な取組」の中で位置付けることに合わせ、文章を修正 ■ 基本構想において人や企業の呼び込みに関する記載を充実させたことに合わせた修正 【図】 最新の国勢調査結果に基づく人口ピラミッドの追加 (ほか時点修正)
施策の体系	■ 【図】 「転出超過」を「社会減」とする修正ほか
(1) 次世代をつくる	○ 関連施策における「主な取組」見直しに伴う修正
(2) 略	
(3) 暮らしの魅力をつくる	○ 関連施策における「主な取組」見直しに伴う修正 ◆ 総合戦略との一体化に伴い、戦略的な取組として銭函地区等の人口対策を追記
(4) にぎわいをつくる	■ 関係人口の拡大に資する取組を具体的な記載にする修正 ■ 本項目の「現状と課題」の修正に合わせ、官民連携に関する取組を追記
指標	○ 関連施策における「指標」見直しに伴う修正
0 2 将来人口への適応 ～時代に合ったまちづくり～	
現状と課題	■ 基本構想に合わせた文章の修正、デジタル化の対応に関して追記 【図】 新たな人口シミュレーションをしないことにより図を削除
(1) みんなで支えあう	○ 関連施策における「主な取組」見直しに伴う修正
(2) 将来に備える	○ 関連施策における「主な取組」見直しに伴う修正 ■ 「市民の利便性向上や業務効率化に向けたデジタル技術の積極的な活用」を追記
指標	○ 「自分が健康であると感じている市民の割合」を「健康寿命の延伸」に変更 ○ 「北しりべし定住自立圏での、小樽市が参画する事業数」を追加

第7次小樽市総合計画基本計画 改訂原案 主な修正一覧

- 基本構想の見直しに合わせた修正
- ◆ 情勢変化への対応に関する修正
- 時点修正、文言修正、その他の修正
- 【指標】 指標の追加・目標値の修正等

(R7.7.24 総合政策部企画政策室)

項 目	主 な 修 正
Ⅳ まちづくり 6つのテーマ	
1-1 子ども・子育て支援	
現状と課題	◆ 市内で分娩を取り扱う医療機関が一か所となり、周産期医療の堅持が喫緊の課題となっていることを追記。 ■ 保育環境の整備例としてデジタル技術の活用について追記 ◆ こどもの居場所づくりに関する指針に基づき、居場所づくりについて追記 ◆ 子育て当事者が抱える悩み等への相談に関する課題を追記 ◆ 近年ではヤングケアラーが社会問題となっていることを追記 ◆ 子ども大綱の基本的な方針に基づく内容を追記
(1) 妊娠・出産・子育て支援の充実	◆ こども家庭センター設置による修正 【指標】 育児相談延べ件数 目標値を600件から1200件へ修正
(2) 保育サービスの充実	■ DXによる教育・保育環境の確保・充実を追記
(3) 略	
(4) 子どもを守る仕組みの充実	◆ ヤングケアラーの認知度向上、適切な理解の促進や支援の充実について追記
(5) ～ (8) 略	
1-2 学校教育	
現状と課題	○ 令和4年度全国学力・学習状況調査結果を反映した文言修正 ○ 跳躍能力は学校により状況が異なり、本市全体の課題と言えないため文言修正 ○ 本市の子どもの健康に関し、う歯率が高いことを追記
(1) ～ (5) 略	
2-1 地域福祉	
現状と課題	◆ 地域福祉計画が策定済みとなり、令和6年度から、重層的支援体制整備事業を実施していることによる修正
(1) 略	
(2) 多様な課題解決に向けて連携する支援体制の構築	◆ 重層的支援体制整備事業の実施による修正
(3) 略	
2-2 高齢者福祉	
現状と課題	○ 高齢者人口の状況変化による時点修正 ■ 基本構想の表現に合わせた文言修正 ◆ 認知症基本法の基本理念を反映した文言修正
(1) ～ (3) 略	
2-3 障がい者福祉	
(略)	
2-4 保健衛生	
現状と課題	○ 主要疾患別死亡率に関する時点修正 ○ 感染症、食中毒の記載について、小樽市感染症予防計画策定に伴う文言修正 ○ ウォーキングサポーター養成講座の開催による運動習慣の普及啓発の推進を追記
(1) 健康づくり施策の推進	【指標】 「健康寿命の延伸」について、基準値・目標値の修正 (小樽市健康増進・自殺対策計画策定に合わせた修正)
(2) ～ (4) 略	

第7次小樽市総合計画基本計画 改訂原案 主な修正一覧

- 基本構想の見直しに合わせた修正
- ◆ 情勢変化への対応に関する修正
- 時点修正、文言修正、その他の修正
- 【指標】 指標の追加・目標値の修正等

(R7.7.24 総合政策部企画政策室)

項 目	主 な 修 正
2-5 地域医療	
現状と課題	○ 主要疾患別死亡率に関する時点修正 ◆ 夜間急病センターの受診者数の持ち直し、宿直医師の安定的な確保の課題等が生じたことによる修正 ○ 市立病院について、「経営強化プラン」の策定と地域医療支援病院の承認を受けたことによる文言修正
(1) (2) 略	
(3) 市立病院の経営効率化と役割の明確化	○ 小樽市立病院経営強化プラン策定による修正 ○ 市立病院の役割・機能に「認知症疾患診療」を追加する修正 ○ 地域医療支援病院としての役割推進を追記 【指標】「経常収支比率」の目標値を修正（100%以上→97.8%） （小樽市立病院経営強化プランの収支計画と整合を図るもの）
2-6 男女共同参画社会	
現状と課題	○ 関連計画について時点修正
(1) 男女の人権の尊重と参画の意識づくり	◆ L G B T等の性的マイノリティに対する正しい知識の周知啓発を追記 【指標】指標の追加 「性的マイノリティ（L G B T等）」という言葉の認知度
(2) (3) 略	
3-1 農林業	
現状と課題	◆ 農業者の作業負担軽減、生産性向上について、「スマート農業」を追記
(1) ~ (3) 略	
3-2 水産業	
現状と課題	○ 漁獲量について、近年の実績に合わせた時点修正 ○ 市場再整備に係る課題として衛生管理の改善があることを追記
(1) ~ (3) 略	
3-3 商業	
現状と課題	○ 国内の商業環境に関する記述について、内閣府月例経済報告から時点修正 ○ 旅行客の増加について、「回帰・回復」に文言修正
(1) 略	
(2) 買い物環境の魅力向上	【指標】指標「飲食店売上高」の削除（経済センサスで確認不可のため）
(3) (4) 略	
3-4 工業・企業立地	
現状と課題	◆ 次世代半導体産業や再生可能エネルギーなど、北海道内全体の現状などを追記 ○ 本市の製造品出荷額が平成30年から令和2年で減少傾向にあるため文言修正 ■ 市内事業者の生産性を向上する手段として、DXの推進や設備投資などを追記 ◆ 企業立地に関し、市内へのサテライトオフィス誘致について追記
(1) ~ (4) 略	
3-5 観光	
現状と課題	◆ 新型コロナウイルス感染症の影響が大きかったことから現状として記載 ○ 令和4年10月に一般社団法人小樽観光協会がDMOとして登録され、観光地域づくりを進めているため文言を修正 ■ 基本構想の修正を踏まえ、インバウンドの誘致強化を追記 ◆ 新たな行政需要に対応するための安定的な新たな財源の確保が求められていることを追記
(1) 小樽の魅力を深める取組	○ 「歴史まちづくり法」に基づく歴史的風致維持向上計画の策定等について修正 ◆ 宿泊税を活用した新たな観光施策の検討について追記 【指標】「観光客満足度」基準値の修正（H25、91.30%からH30、92.50%へ） 「小樽の宿泊客延数」目標値の修正（1,300,000人 → 1,359,600人） 「観光客消費額」基準値の修正（1,255億円 → 898億円） 「観光客消費額」目標値の修正（2,300億円 → 1,228億円）
(2) 小樽の魅力を広げる取組	○ 小樽観光協会が「登録DMO」に登録されたことによる修正。
(3) 略	

第7次小樽市総合計画基本計画 改訂原案 主な修正一覧

- 基本構想の見直しに合わせた修正
- ◆ 情勢変化への対応に関する修正
- 時点修正、文言修正、その他の修正
- 【指標】 指標の追加・目標値の修正等

(R7.7.24 総合政策部企画政策室)

項 目	主 な 修 正
3-6 港湾	
現状と課題	○ 開港120年を迎えたとの記載を時点修正（明治32年に開港） ■ 基本構想の修正に合わせ、労働者不足について文言修正（「高齢化による」を削除） ○ 小樽港長期構想の策定や港湾計画の改訂が終了したことによる文言修正
(1) 略	
(2) 「みなと観光」拠点の創出	○ 第3号ふ頭クルーズ船受入機能の拡充が完了したことによる修正。 ○ 「みなとオアシス小樽」を令和6年4月に登録したことによる修正。
(3) (4) 略	
3-7 雇用・労働	
現状と課題	○ 国内の労働市場の記述について、時点修正（内閣府 日本経済2022-2023より） ◆ 近年、高い水準にある求人倍率と、企業の人材不足について文言修正 ■ 働き方に関し、DXの推進による業務の効率化との表現に文言修正 ◆ 外国人材について、制度変更や重要な検討課題となっている現状を踏まえた修正
(1) ~ (4) 略	
4-1 上下水道	
現状と課題	○ 上下水道普及率の時点修正
(1) ~ (4) 略	
4-2 道路・河川	
現状と課題	
(1) 略	
(2) 河川の整備、維持管理	【指標】「沈砂池のしゅんせつ箇所」の目標年度を修正（R6→R10）
4-3 住宅	
現状と課題	
(1) 安全・安心で快適な住宅の促進	○ 木造住宅耐震診断の補助制度を、令和5年度で廃止したことによる修正
(2) 略	
(3) 空家等対策	○ 「空き家・空き地バンク」制度廃止と、空家等流通プラットフォーム事業開始による修正
(4) 移住促進に向けた情報提供などの充実	○ 「空き家・空き地バンク」制度廃止と、空家等流通プラットフォーム事業開始による修正
4-4 除排雪	
現状と課題	◆ 観光客に配慮した安全な歩行空間の対策(除排雪)が求められていることを追記
(1) ~ (3) 略	
4-5 市街地整備	
現状と課題	
(1) 中心市街地の整備	○ 第2次小樽市都市計画マスタープラン策定済みによる修正 【指標】 指標「中心市街地の歩行者通行量」を「中心市街地の滞在量（1時間当たり）」に変更（ビッグデータを活用）
(2) 周辺市街地の整備	○ 小樽市立地適正化計画の策定着手に伴う修正 ○ 第2次小樽市都市計画マスタープラン策定済みによる修正
(3) 略	
4-6 交通	
現状と課題	◆ 公共交通維持について、乗務員不足の影響が顕著になっているため文言修正 ◆ 脱炭素社会実現に向けた取組で公共交通の利用がうたわれているため文言修正 ◆ 乗務員確保、路線バスの運行経費に対する支援などが必要であることを追記 ◆ 令和4年3月並行在来線（長万部・小樽間）のバス転換の方向性決定等を踏まえた追記
(1) 持続可能な交通ネットワークの構築	◆ 路線バスの運行経費に対する支援や乗務員確保に向けた取組について追記 ◆ 並行在来線バス転換の方向性決定を受けた文言の修正
(2) 略	

第7次小樽市総合計画基本計画 改訂原案 主な修正一覧

- 基本構想の見直しに合わせた修正
- ◆ 情勢変化への対応に関する修正
- 時点修正、文言修正、その他の修正
- 【指標】 指標の追加・目標値の修正等

(R7.7.24 総合政策部企画政策室)

項 目	主 な 修 正
4-7 防災・危機管理	
現状と課題	■ 災害の記載について、基本構想との整合を図るなどの文言修正（豪雨等追記） ○ 過去の大規模災害時で重要だった共助の役割について強調するよう修正
(1) 防災対策の推進	○ 本市業務継続計画の策定による文言修正 ○ 民間大規模建築物の所有者に対する耐震改修補助等の支援を削除 ○ 木造住宅耐震診断の補助制度を、令和5年度で廃止したことによる修正。
(2) 略	
4-8 消防	
現状と課題	○ 火災発生件数及び火災による死者数について表記を修正（横ばいで推移）
(1) 警防体制の整備	○ 「Net119通報システム」が、令和2年7月に導入済みのため削除 ○ 外国人からの119番通報に対する「電話通訳センター」を介した多言語対応を令和2年4月に導入済みのため、周知促進に修正 ○ スマホ等を使用して消防指令センターに映像で通報する「映像通報システム」の導入を追記 ○ 後志管内消防指令業務の共同化及び消防指令システムの高度化の推進を追記 【指標】「消防車両更新台数」目標値を15台から14台に修正（消防車両整備計画と整合を図るため）
(2) 火災予防の推進	○ 火災予防の情報発信における、SNS等の各種媒体の利用について追記
(3) 略	
(4) 消防団の強化	○ 機能別消防団員（特定の活動、役割にのみ参加する団員）制度を導入したことによる修正
4-9 生活安全	
現状と課題	○ 道内の犯罪件数などについて、近年のデータに合わせた表記に修正
(1)～(3) 略	
5-1 環境保全	
現状と課題	■ 脱炭素社会の実現、再生可能エネルギーの活用等について追記 ○ 「環境と経済のバランスの取れた社会」を分かりやすくするための文言修正
(1) 略	
(2) 地球温暖化防止対策の推進	■ 脱炭素社会の実現、再生可能エネルギーの活用等について追記 【指標】 指標の追加 「温室効果ガス排出量」
(3) (4) 略	
5-2 循環型社会	
現状と課題	○ 生活系ごみ、資源物排出量、事業系ごみについて、近年の数値に基づき文言修正 ○ 生ごみ減量の課題を強調する表現に文言修正 ○ 一般廃棄物最終処分場及び産業廃棄物最終処分場の延命化を行っている記述への修正
(1) 略	
(2) ごみ・資源物の適正処理	○ 最終処分場の延命化に着手していることによる修正（「拡張整備」を「延命化」に）
(3) 略	
5-3 公園・緑地	
現状と課題	○ 「ニーズの把握」対象を「公園」から「既存の公園・緑地」へ変更する修正 ○ 公園整備の地域への配慮の例として、「地域住民のニーズを反映させるなど」を追記
(1) 略	
(2) 公園・緑地の整備推進と維持管理の充実	○ 緑の基本計画策定済みによる文言修正 ○ 親子連れで遊べる小樽の特性を生かした小樽公園の再整備を追記
(3) 略	
5-4 都市景観	
現状と課題	○ 時点修正及び時系列で記述する文章に整理するための修正
(1) 歴史的建造物の保全及び活用	○ 「歴史まちづくり法」に基づく歴史的風致維持向上計画の策定等について修正
(2)～(4) 略	

第7次小樽市総合計画基本計画 改訂原案 主な修正一覧

- 基本構想の見直しに合わせた修正
- ◆ 情勢変化への対応に関する修正
- 時点修正、文言修正、その他の修正
- 【指標】 指標の追加・目標値の修正等

(R7.7.24 総合政策部企画政策室)

項 目	主 な 修 正
6-1 社会教育	
現状と課題	○ 教育力の低下の要因から「核家族化の進展」を削除
(1) (2) 略	
(3) 図書館の利活用の促進	○ 令和6年4月から、学校Web予約貸出しサービス、道立図書館連携事業を開始、令和3年7月から図書貸出窓口拡充事業を開始したことによる修正・追記
(4) 総合博物館の利活用の促進	○ 旧日本郵船(株)小樽支店との連携による博物館の利用促進について追記
(5) 略	
6-2 文化・芸術	
現状と課題	◆ 無形文化財などの継承が危機的状況にあるため、映像資料などのデジタル化推進について追記
(1) (2) 略	
6-3 スポーツ・レクリエーション	
現状と課題	○ 新総合体育館についての記述を時点修正
(1) 生涯スポーツ・レクリエーション活動の普及と市民体力の向上	○ ウォーキングサポーター(市民ボランティア)の養成を追記
(2) 略	
(3) 体育施設の整備と利用促進	○ 総合体育館と市民プールについて、「プール室を併設した新総合体育館の整備の推進」に修正 【指標】「主な体育施設3施設を利用する延べ利用者の人口に対する割合」の基準値・目標値を修正(既に達成のため) 基準値117.0%(H30) 目標値122.0%(R10) → 基準値128.2%(R5) 目標値133.2%(R10)
6-4 国際交流	
現状と課題	◆ ナホトカとの交流が中断しているため記載内容を修正 ◆ 在住外国人の人数、技能実習制度の見直しを受けた記述の修正
(1) (2) 略	
V 市政運営の基本姿勢	
01 市民参加と協働によるまちづくりの推進	
略	
02 持続可能な行政運営の推進	
現状と課題	○ 財政健全化について、近年の状況や昨年策定した「中長期財政収支計画」を踏まえた記載に修正 ■ 自治体デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進計画を反映した記載に修正 ○ 整備する公共施設について、公共施設等総合管理計画の新たな記載を反映する追記(誰もが利用しやすい、環境負荷低減)
基本的な考え方	
(1) 財政健全化の推進	○ 収支改善プランの検証結果や、中長期財政収支計画を昨年策定しことから、記述内容を全面的に変更
(2) 効果的・効率的な行政経営の推進	■ 「自治体DXに関する全体方針に基づき、デジタル技術の活用に合わせて、業務の進め方などについても見直し」することを追記
(3) 公共施設等の老朽化対策と将来に向けた最適化	■ PPP/PFIの指針が策定されたことから記載を修正 ○ 本庁舎長寿命化計画、総合体育館長寿命化計画の記載内容を反映する修正
03 広域連携の推進	
略	
関連計画	
各項	○ 計画の更新等に伴う修正、策定による追記など